

よりよい空間づくり

東京都江東区立深川第四中学校

一年 鈴木 愛梨

我が家は居住スペースが非常に狭く、和室二間を四人で、居間、寝室、勉強部屋として使用しています。そのため、狭くてもストレスを極力感じない空間づくりと、個々に物を持ちすぎないという事がとても重要になってきます。

空間づくりで心がけている事は、視覚を疲れさせないようにするため、色調を統一するという事です。古くなった暗い色の砂壁を自分たちで白くぬり替えたり、あるいはふすまや障子を白無地の物に貼り替えた事で、部屋全体がすっきりとした印象になり、奥行きが感じられるようになりました。また、吊り下げ式の電気からLEDにし、高い位置から照らす事で、白が映え、より広く明るく見せる事ができました。物の配置も、部屋に入って手前に低い家具、奥の方に高い家具という風に並べかえ、奥行き感を出すようにしました。

物を持ちすぎないという点では、天袋などの日頃点検しづらい収納にしまった物でも、本当に必要な物なのか、協力して定期的に見直す事が重要です。何かを買う際も、衝動的ではなく、塾考して買うように心がけています。そうする事で、狭い空間では混沌とした状況を作らず、お互いが秩序を守り、快適に暮らせると思うからです。狭いがゆえに、少しの改善点でもすぐに行動に移さなければ、すぐに居心地の悪い空間に戻ってしまいます。

良い空間づくりは、お互いを尊重し合える良い関係づくりにもつながっていると思うので、私はぜひこの習慣を続けていきたいと考えています。